

## あいさつ文例

### ◆ P T A会長就任あいさつ文例

このたび、本校のP T A会長を仰せつかりました〇〇〇〇です。身に余る重責で未だに戸惑っておりますが、お引き受けしたからには、本校P T Aの発展のため、ひいては子どもたちの心身ともに健全な育ちのために、微力ながらも全力を尽くす所存です。P T A会員の皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご来賓の皆様、本日のP T A総会開催にあたり、ご多用の中ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

さて、P T Aの目的は、家庭と学校が担っているそれぞれの役割を果たしつつ、地域とも緊密な連携を取り合って、子どもたちの健全な育成のための活動をしていくことにあると思います。

長野県P T A憲章にも3つの行動目標が掲げられています。一つは「家庭の中でしっかり向き合おう」であります。子どもを育て、教育することにおいて、第一歩の責任は私たち保護者にあります。一人の親として、まずは我が子としっかり向き合い、「よりよい親」として成長し、家庭教育力の向上に努める必要があると考えております。

もう一つに「積極的に学校に顔を出そう」であります。先生方と保護者とが平日頃よりコミュニケーションをとり、理解し合いながら互いに協力することが、子どもたちのよりよい育ちに繋がるものと考えております。それには、私たち保護者が積極的に学校に顔を出し、情報交換する必要があると思います。先生方と保護者とが積極的に意見を交換しあえるようなP T A活動にしたいと思っております。

そして最後に「地域に感謝し、地域で子どもたちを育てよう」であります。多くの地域の団体、皆さまが私たちの子どもを温かく見守っていただいております。学校や地域の問題などを共に考え、共に行動することにより、信頼の絆を育んでまいりたいと考えております。

また、P T A活動におきましては、先生や地域の方々とのコミュニケーションのみならず、保護者同士のコミュニケーションも大変重要であると思います。会員の皆さんは、P T Aの力の源です。役員一同、精一杯頑張りますので、様々な場面で皆さんの「知恵」をお出しいただき、『みんなでつくるP T A』であるとともに、『仲のよいP T A』でありたいと願っています。どうか可能な限り時間を作っていただき、P T Aの活動に積極的に参加していただきますようお願い申し上げます。

会員の皆さま方のご理解とご協力を重ねてお願いいたしまして、会長就任のあいさつとさせていただきます。

#### ◆ 入学式あいさつ（小学校）文例

新1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

皆さんが、この〇〇小学校に入学してくることを、先生方も2年生から6年生のお兄さん、お姉さんも、とても楽しみにしていました。

学校には優しい先生やお兄さん、お姉さんが大勢います。わからないことがあったら、何でも教えてくれますから、恥ずかしがらずに聞いてみましょう。そして休み時間には、体育館や校庭でいっしょに遊んでもらいましょう。

それから小学校では、読み方や書き方、数の計算を習ったり、絵を描いたり、歌を歌ったり運動したりと楽しい勉強が始まります。皆さんは、先生の話をよく聞いて、楽しい勉強をたくさんしてください。そして、いつも笑顔で「おはようございます」、「こんにちは」と挨拶のできる小学生になってください。

勉強も運動も、そして遊ぶことも同じくらい頑張って、一日も早く先生やお友達と仲良くなって、元気に楽しい学校生活を送りましょう。

保護者の皆さま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

本日、こうしてお子さんが、入学の良き日を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

子どもたちはこれから、〇〇小学校で様々なことを体験し、多くのことを学び、日々成長を重ねていきます。その健やかな成長のために、学校と家庭、そして地域社会が一体となって、子どもたちを温かく見守って行きたいと思えます。PTA活動へのご理解と、積極的なご協力をいただき、これから6年間、子どもたちのために、ともに手を携え、力をあわせて参りましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ職員の皆さま、ご来賓の皆さま、どうか新一年生の成長を温かく見守っていただきますとともに、私たちPTAにもこれまでと変わらぬご指導、ご教示をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

#### ◆ 入学式あいさつ（中学校）文例

PTAを代表し祝辞を申し上げます。

新入生の皆さん、〇〇中学校へようこそ。みなさんは、小学校を卒業し、この〇〇中学校に〇〇〇名の仲間とともに入学されました。新しいスタートのときを迎え、

期待と不安で校門をくぐったことと思います。私も三十数年前みなさんと同じように〇〇中学校に入学し、上級生や先生がやたら怖く見えたことを思い出しますが、在校生一同、自慢の磨き上げられた校舎をさらに磨き、気合いの入った「あいさつ」でみなさんを温かく迎えたことと思います。

義務教育という言葉があります。私たちは、特別意識せずにこの義務教育という言葉をつかいますが、この義務教育という言葉の意味を「勉強を押しつけられる」と誤解していることはないでしょうか。その結果「学校に通うことが義務のような意識になってしまっている」ことはないでしょうか。義務教育の本来の意味は「みなさんが教育を受ける権利を持ち、親は教育を受けさせる義務を負う」ことなのです。

小学校が基礎的な学習の場とすれば、中学校はみなさんの得意な分野を自らの意志で伸ばすことができる三年間です。親や先生の押し付けでなく、自らの意志で行動することを学ぶ期間です。私は、昨年度の卒業生に「両手をいっぱい広げて生きていってください」と話しました。生きていく姿勢のイメージです。自分の進む道を限定せず、いろいろなことを試みるようにして下さい。「ちょっといやだな」と思っても「やってみるか」という姿勢、「できればいいけど無理」でなく「できなくてもやってみるか」という姿勢で物事を取り組んでいただきたいと思います。失敗が許される時期ですからいろいろなことに挑戦してみてください。部活動、生徒会活動もあります。学校に通うことは、みなさんの権利ととらえ「両手いっぱいに広げて」中学校生活を過ごして下さい。

ご同席いただいた保護者の皆様、本日はおめでとうございます。何かと忙しい日々とは思いますが、子どもたちの中学校生活をともに見守っていただくよう、PTA活動へのご理解、ご参加をお願いいたします。

ご来賓の皆様、私たちPTAは、子どもたちの健全な育成のために力をあわせて努力して行く所存であります。皆様の格別なるご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日は誠におめでとうございます。

#### ◆ 卒業式あいさつ（小学校）文例

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

ここから、みなさんの顔を見ると、本当に大きくなったなあをつくづく感じます。6年前、皆さんの手を引いて門をくぐった時は、ランドセルの方が大きく見えるくらいに小さく、学校まで無事に歩いて行けるのだろうか心配をしたものでした。

あれから6年の歳月が流れ、楽しかったこと、がんばったこと、つらかったこと、たくさんの思い出を胸に、この通り慣れた〇〇小学校に別れを告げようとしています。

今のみなさんは、見違えるくらい立派になりました。それは、先生方の熱心なご指導や、家族の皆さん、地域の方々の温かい愛情があったからです。どうか、支えてくれた方々に「ありがとう」という気持ちを忘れないで下さい。

さて、4月から皆さんは中学校へ進学します。ついては私からお願いしたいことがあります。夢をたくさん持って、自分の夢に挑戦し続けてほしい。」ということです。中学校に進学すると、勉強も、クラブ活動も大変になります。自分の思い通りにならないことが多いと思いますが、小さなことでも構いません。心にいつも夢を持って、夢に近づく努力を、挑戦を続けて下さい。その時に大切なのは「心の持ち方」です。みなさんが苦勞して一つのことに取り組んでいて、半ばまで来たとします。その時に、「あと半分だ」と思うのと、「まだ半分だ」と思うこと。「あと半分だ がんばろう」と思うのと、「まだ半分しか終わっていない」と思うのでは大違いです。何事も、心の持ち方ひとつで、楽しくも、つまらなくもなり、結果に大きな差が出ます。いつも前向きな気持ちを持ち、自分の夢に向かって挑戦し続けて下さい。卒業生のみなさんの中学校での活躍を大いに期待しております。

本日お子様のご卒業を迎えられました保護者の皆様、誠にありがとうございます。これまでのPTA活動に対しまして、多大なるご支援・ご協力、さらには積極的なご参加を頂き、厚く御礼申し上げます。

また、ご来賓の皆様方、並びに先生方には6年間の長きに渡り、地域で、また学校において愛情溢れるご指導を賜りました。PTAを代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

これからも、それぞれの立場で、〇〇小学校の子どもたちのために、変らぬご指導・ご助言をお願い申し上げ、本日卒業する〇〇名の門出を祝し、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日はご卒業、誠にありがとうございます。

#### ◆ 卒業式あいさつ（中学校）文例

季節のはっきりしたこの信州の地で、四季それぞれの行事を体験し勉学に部活にと励み、卒業していくみなさん、心よりおめでとうを申し上げます。三年間という長いようで短かった月日を振り返ると、つらかった事、楽しかった事、先生や友人との語らいが今、走馬灯のごとく思い浮かんできていると思います。

ご家族をはじめ大勢の方に支えられ、これより新たな人生に向かって旅立つ今日

は、九年間の義務教育が終わり、大人への一步として気持ちを切り替える上で人生の一つの大きな区切りの日といえるのではないのでしょうか。

これから高校へ、実社会へと巣立っていく君たちが、いつか一人前の大人として成長するのに、我々は応援をおしむことはありません。しかし、それより自分の将来は自分でつかむものという気構えを忘れないでいてもらいたいと思います。

思春期の多感な時、目に見えるもの聞くものに流されやすく、また遊びに夢中になる時期でもあります。表面的なもの、一時的な楽しみに流されないためには夢や希望を持つことです。人として神から与えられた特権を使わぬ手はありません。大それたものでなくていいんです。小さくていいんです。

中学時代に別れを告げる今、自分の進むべき道を見つめるちょうどよい時期であると思います。希望を持つではありませんか。夢を見ようではありませんか。今、社会情勢、経済状況が混沌とした日本を考えると、安閑としておられないのが事実であります。

この様な世情の中で自分の明るい未来とはどういうものか広い視野にたって考え、目標に向かって進んでもらいたいと思います。望み叶わぬ時でも、たとえ挫折感を味わおうとも、君たちには、若さがあります。何回でもチャレンジ精神で目標に向かい、困難に立ち向かって希望を捨てずに歩んでくれることを心から願っております。親として、またこの学校を卒業した一先輩として切に望むところであります。

校長先生はじめ諸先生方には、思春期のむずかしい子供たちを学習や生活の面でご指導いただきましたことを感謝申し上げます。夜遅くまで職務に励んで苦勞されている様子を垣間見、中学校の大変さを感じた次第であります。厚く御礼申し上げますとともに今後とも〇〇中学校の一層の充実と、ご発展を心からお祈り申し上げます。

保護者とご家族のみなさん、今日のご卒業を心からお祝い申し上げます。三年間、心身両面で支えると同時に、この時期の子供の育て方のむずかしさに悩みご心配の毎日であったこととご推察いたします。

これからは、子供たちが自分で力をつけ、生きる道を探してくれることと思います。進む道を見守り励まして下さる事をお願いします。

終りになりましたが、ご来賓の皆様におかれましては、これまで卒業生のために多方面においてご尽力をいただきました。誠にありがとうございます。PTAを代表しまして、皆様のご尽力とご協力に心からお礼を申し上げ、祝辞といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

### ◆ 校長着任式あいさつ文例（小・中学校）

3月末、〇〇校長先生がご退職のため本校を去られ、子どもたちやPTAも学校に大きな穴が開いてしまったような寂しい気持ちでいましたが、4月からは、〇〇校長先生が〇〇学校からお出でいただきました。〇〇校長先生をお迎えするにあたり、PTAを代表し一言ごあいさつさせていただきます。

〇〇校長先生、本校にご着任ありがとうございます。子どもたちと私たちPTAは、〇〇校長先生のお出でを心からお待ちしておりました。先生をお迎えして本年度が力強くスタートできますことに胸がいっぱいでございます。校長先生には、本校におきまして、思う存分お力を発揮していただきたいと思っております。

さて、〇〇校長先生は、〇〇に造詣が深いとお聞きしております。

～今までの校長先生の履歴の主なものを紹介して、本校でそれを生かしていただきたい旨を伝える～

<例> ～〇〇校長先生は、音楽にとっても造詣が深いとお聞きしております。音は人の心を癒すと聞いています。ぜひ児童に音楽の素晴らしさを伝えていただければと願っております。殺伐とした環境の中に身を置く今の子どもたち、今こそ心に音楽が、その音色が必要ではないかと思っています。親として、子どもが心豊かに健康に育つことが切なる願いであり、またこれに勝る喜びはありません。～

豊かな自然環境の地にある本校に一日も早くとけこんでいただき、〇〇校長先生の教育理念・教育構想の下で活気ある子どもたちの育成をはかっていただきたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、前ご勤務地とはまた違う気候風土にあります。くれぐれもお身体にご留意され、子どもたちのためにお力をいただきたくお願い申し上げます。また、〇〇校長先生の学校運営に私たちPTAも一層ご協力を申し上げ、本校発展のため一層の尽力をお約束申し上げます。

校長先生着任のごあいさつとさせていただきます。

### ◆ 校長退任あいさつ文例

〇〇校長先生のご退任にあたり、PTAを代表してごあいさつを申し上げます。

〇〇校長先生は、皆様方もご存知の通り、温かなお人柄と、教育者として、たいへん熱心にお仕事されるお姿から、子どもたちはもとより、先生方、私ども保護者、ひいては地域の方々にまで信頼され、慕われる存在でありました。

〇〇校長先生のご指導のもと、子どもたちが安心して学び、遊び、そしてさまざまな活動の中で、伸び伸びと成長する姿を見るにつけ、親としてたいへん心強く思

いました。また不安や戸惑いの中での子育てにある私たち親をいつも見守っていて下さったことは大変ありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

教育者として今日まで長年にわたるご指導により、どれほどの子どもたちが立派に成長し、社会で活躍していることでしょうか。その子どもたちひとりひとりが〇〇校長先生のご功績であり、宝であると思います。

この度のご退任は、私どもにとりましても、たいへん名残惜しく、願わくは、「もう少しこの学校でご指導いただけるならば」という気持ちでいっぱいです。かなわぬ願いと知りつつも〇〇校長先生とお別れしなければなりません。本当に長い間お疲れ様でした。

しかし、まだまだ先生には、さらなる情熱をもって、子どもたちのため、また長野県の教育のために、新たなご活躍の場でご尽力いただくことをご期待しています。

〇〇校長先生、長い間ありがとうございました。〇〇校長先生のますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

〇〇校長先生のご退任にあたり、ご指導を賜ったすべての子どもたちと保護者を代表し、ごあいさつとさせていただきます。